

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 NPO法人沖縄国際人材支援センター

1. **事業名称** 「県内在住生活者としての外国人」のための地域日本語教育実践プログラム

2. **事業の目的** 地域に暮らす外国人が日常生活において日本語力が不足するために受ける不利益を解消し、一方そうした隣人を地域の日本人が理解し協力し合い、住みやすい生活空間を作る。

3. **事業内容の概要** 県や各市町村の連絡会を作り、各地で日本語教室が開催できるようそのモデル事業を提示する。

4. **運営委員会の開催について**

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年8月13日 13時～15時	2時間	NPO法人 沖縄国際人材支援センター事務所	久貝美三郎 宇地原靖与那覇麻孔 大仲のみみ 仲田俊一 瀬底あけみ 仲田佳世	1.平成24年度の事業の概要と総括 2.平成25年度事業の概要 3.平成25年度事業の進捗状況	県内在住外国人のニーズを把握するためにも、災害時の対策の必要性からも、本事業が重要であることを確認。
2	平成26年1月7日 10時～12時	2時間	沖縄県庁 会議室	小納谷研一 渡嘉敷礼久貝美三郎 宇地原靖加治屋理華 玉城亜希巳 大仲のみみ 瀬底あけみ	1.『生活者としての外国人』のための日本語講座終了報告 2.『いろいろな人と友達になろう 大交流会』の概要 3.昨年度からの課題の整理 4.次年度にむけて	各市町村における外国人に対する取り組みは温度差があるので、まず関心の高い市町村から連携を深めていくべきだ。通訳派遣と日本語学習は車の両輪だ。
3	平成26年3月13日 15時～17時	2時間	沖縄県庁 会議室	渡嘉敷礼 久貝美三郎 加治屋理華 玉城亜希巳 大仲のみみ 瀬底あけみ	1.国際交流フェスティバル『世界のまーさん(おいしい)大交流会』実施報告 2.平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業総括、課題の整理 3.まとめ	本事業が徐々に浸透していることを確認。継続して取り組んでいく必要性をもっといろんなところに訴えていくべき。



5. **取組についての報告**

○取組1: 横断的「生活者としての外国人」のための地域日本語教育実践連絡会

- (1) 体制整備に向けた取組の目標 自治体ごとの外国人居住者数と日本語学習を必要とする人数をデータ化し、それに対応する組織的な取り組みを実施する。
- (2) 取組内容 県と各市町村ならびに教育委員会によびかけて、地域在住外国人の日本語教育に関する情報交換と課題を定期的に話し合う連絡会を開催し、問題の解決に実践的に取り組む体制を作る。
- (3) 対象者 県ならびに各市町村担当者、各教育委員会担当者
- (4) 参加協力要請者の総数 41 人
(出身・国籍別内訳 全員 日本人)
- (5) 開催時間数(回数) 1 時間 (全 1 回)
- (6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	配布数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	担当者
1	平成26年1月21日 9:30～11:00	1.5時間	NPO法人 沖縄国際人材支援センター事務所	41	日本人(41人)	NPOの挨拶と連絡会のお知らせ 参加協力の呼びかけをメールで送る	各市町村の外国人交流担当者にメール送信	瀬底あけみ

- (7) 参加者の募集方法
沖縄県交流推進課が掌握している各市町村担当者にメールを送付。

(8) 特徴的な活動風景

以下のメールを各市町村担当者に送付し、返事があったところにコンタクトを取ろうとしたが、1通も返事が返ってこなかった。

はじめまして。私どもは那覇市西にある NPO法人イレスコ沖縄国際人材支援センターと申します。国際交流を目的としたNPO法人です。このメールは各市町村在住外国人を担当していらっしゃる方へBCCで送らせていただいています。これまで5年にわたって、文化庁の補助をうけ、地域在住の外国人のための日本語クラスを夜間に開講してきましたが、今年度はそうして集った外国の人々と沖縄県民が触れ合える場を設けたいと考え、添付のようなイベントを2月1日に開催することになりました。ぜひ、お住まいの外国人の方々、国際交流に興味をお持ちの方々にお知らせいただきたく、案内のチラシを添付いたします。よろしくお願いいたします。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

県から資料提供を受けて、連絡を取ろうと試みたが、実際訪問して顔を合わせる前にメールで連絡してもただのNPO法人には振り向いてくれない、ということがわかった。

(10) 改善点について

県の担当者から口ぞえをもらって、アンケートを結果をもって挨拶にいくところから始めるべきだった。次年度できれば特に関心の高かった自治体、在住者が増えている自治体を優先的に訪問したい。

○取組2:「生活者としての外国人」のための日本語講座

(1) 体制整備に向けた取組の目標

学習者に日本語学習機会を提供し、日本人住民も教室への参加を通じて新たなサークルの立ち上げの必要性を認識する。

(2) 取組内容 指導スタッフを常時数名確保し、個別またはグループ学習の形の「標準的カリキュラム案」に基づく状況・場面に応じた会話等を取り入れた日本語教室を開催する。

(3) 対象者 地域在住の外国人 ボランティア希望者 ボランティア経験者の補助者

(4) 参加者の総数 44 人

(出身・国籍別内訳 フリビン 9人、インド 7人、台湾、中国 各6人、香港 3人、韓国、ロシア各2人、イタリ、ベルギー、アルゼンチン、ペルー、アイルランド、オーストラリア、ナイジェリア、アメリカ、イギリス各1名。)

(5) 開催時間数(回数) 60時間 (全 30回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年8月27日 18:30～20:30	2時間	学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院 3階ホール	13人	フリビン(3)インド (4)中国、イタリ、ベルギー、ペルー、台湾、アルゼンチン(各1)	開講式 自己紹介	学習希望アンケート オリエンテーション 開講式 その後、3つのグループにわかれて、自己紹介をし、互いに質問して交流を深め、最後に大きな輪になって自己紹介をしておわる。	大仲るみ子	新垣由美、金城弘子、具志堅民子、下門礼子、津波古洋子、山内昌文
2	平成25年8月30日 18:30～20:30	2時間	学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院 3階ホール	15人	フリビン(7)インド (3)中国、イタリ、ベルギー、台湾、イギリス(各1)	病気の表現	前半は、ひらがな、漢字などの表記をし、後半病院でつかう言葉と会話練習を行う。	大仲るみ子	新垣由美、金城弘子、具志堅民子、下門礼子、津波古洋子、金城三枝子、比嘉幸枝、太田雅子
3	平成25年9月3日 18:30～20:30	2時間	学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院 3階ホール	17人	フリビン(7)インド (3)イタリ、ベルギー、台湾、イギリス、アメリカ、ナイジェリア、アルゼンチン(各1)	表記・病気と病院の会話	前半は、表記、日本の歌を休憩時間にうたってから、後半は、昨年度作成した、病院での会話を各国の翻訳も提示しながら、練習する。	大仲るみ子	新垣由美、金城弘子、金城三枝子、具志堅民子、下門礼子、津波古洋子、仲田佳世
4	平成25年9月6日 18:30～20:30	2時間	学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院 3階ホール	13人	フリビン(6)インド、イタリ、ベルギー、イギリス、台湾、アルゼンチン、香港(各1)	表記・病院での会話	ひらがな、漢字をそれぞれのグループにわかれて勉強した後、日本の歌をみんなでうたって、後半は薬に関する病院での会話を練習する。	大仲るみ子	新垣由美、太田雅子、金城弘子、下門礼子、玉森久美子、津波古洋子、比嘉幸枝
5	平成25年9月10日 18:30～20:30	2時間	学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院 3階ホール	16人	フリビン(5)インド、ベルギー、ペルー、台湾、アルゼンチン、イギリス、香港、ロシア、アイルランド(各1)	表記・病気の予防	前半はひらがな・カタカナ・漢字、後半は予防に関する会話を練習する。	大仲るみ子	金城弘子、金城三枝子、具志堅民子、玉森久美子、津波古洋子
6	平成25年9月13日 18:30～20:30	2時間	学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院 3階ホール	13人	フリビン(5)イタリ、ベルギー、台湾、アルゼンチン、香港、オーストラリア(各1)	那覇の地名・台風について	前半は表記の中で、住所が書けるようにと那覇の地名に取り組む。後半は台風時の注意を言葉とともに学ぶ。	大仲るみ子	太田雅子、具志堅民子、下門礼子、津波古洋子、比嘉幸枝
7	平成25年9月17日 18:30～20:30	2時間	学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院 3階ホール	13人	フリビン(5)インド (2)、ベルギー、台湾、アルゼンチン、イギリス、香港、アイルランド(各1)	表記・防災	台風時の注意が書かれた防災てぬぐい に書かれた文字と一緒に読みながら、確認する。	大仲るみ子	金城弘子、金城三枝子、下門礼子、津波古洋子
8	平成25年9月20日 18:30～20:30	2時間	学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院 3階ホール	15人	フリビン(5)インド (2)、イタリ、ベルギー、ペルー、台湾、中国、アルゼンチン、イギリス、香港(各1)	表記・地震	表記の学習の後、地震の会話、地震の言葉を学ぶ。	大仲るみ子	新垣由美、太田雅子、金城弘子、下門礼子、津波古洋子、比嘉幸枝
9	平成25年9月24日 18:30～20:30	2時間	学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院 3階ホール	12人	フリビン(5)インド (2)中国、ベルギー、ペルー、台湾、イギリス、(各1)	表記・地震	地震発生時の注意を読む。	大仲るみ子	新垣由美、金城弘子、金城三枝子、下門礼子、玉森久美子、津波古洋子
10	平成25年9月27日 18:30～20:30	2時間	学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院 3階ホール	10人	フリビン(5)、中国、ベルギー、台湾、イギリス、香港(各1)	表記 地震に関するDVDを見る	表記の練習の後、仙台国際交流協会の地震対策DVDをみんなで見ながら話し合う。	大仲るみ子	太田雅子、下門礼子、玉森久美子、津波古洋子、山内昌文、仲田佳世

11	平成25年 10月1日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	15人	フィリピン(8)、イタ リア、ベルギー、ペ ルー、台湾、イギリ ス、アイルランド、ロシア (各1)	表記・天気の 言葉	ひらがな、カタカナの練習のグループと 漢字のグループにわかれて勉強する。	大仲るみ子	金城弘子、下門礼子、津波古洋 子、
12	平成25年 10月4日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	10人	フィリピン(7)、ベル ギー、ペルー、ロシア (各1)	ひらがな・カタ カナ・漢字	漢字グループは位置を表す漢字の音読 み・訓読み・言葉について、確認する。 ひらがな・カタカナは、覚えた文字の読 み練習。	大仲るみ子	太田雅子、島田武一郎、下門礼 子、玉森久美子、津波古洋子、比 嘉幸枝
13	平成25年 10月8日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	16人	フィリピン(7)台湾 (3)、ロシア(2)、ペ ルー、イギリス、イ ギリス、アイルランド(各 1)	ひらがな・カタ カナ・漢字	漢字は自然に関するものだったので、 旅行の体験など、会話が弾む。ひらが な・カタカナの人たちも文を読むことに挑 戦する。	大仲るみ子	新垣由美、池間邦子、金城弘子、 具志堅民子、下門礼子、津波古洋 子
14	平成25年 10月11日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	14人	フィリピン(8)、中 国、イタリア、ベル ギー、台湾、香 港、ロシア(各1)	ひらがな・カタ カナ・漢字・会 話	生活場面で疑問に思った言葉を持ち 寄って話し合うグループ、ひらがな・カタ カナのグループ、時間に関する語彙を 学ぶグループに分かれて学習。	大仲るみ子	島田武一郎、下門礼子、玉森久美 子、津波古洋子、比嘉幸枝
15	平成25年 10月15日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	14人	フィリピン(7)香港 (2)ロシア(2)ペ ルー、台湾、イギリ ス(各1)	動物・植物の 漢字、ひらが な・カタカナ	簡単そうな動植物を表す漢字でも、組み 合わせでいろんな意味が派生するの で、漢字グループは興味深く学んでい た。ひらがな・カタカナもすこずつ前進 している。	大仲るみ子	金城弘子、下門礼子、津波古洋 子、仲田佳世
16	平成25年 10月18日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	16人	フィリピン(7)香港 (3)台湾(2)中 国、イタリア、ベル ギー、ペルー、(各 1)	行動に関する 漢字・ひらが な・カタカナ	テーマにそった漢字を学ぶ。ひらがな・ カタカナはスムーズに読めるようになる ことが課題。	大仲るみ子	新垣由美、池間邦子、太田雅子、 金城弘子、下門礼子、津波古洋 子、
17	平成25年 10月22日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	18人	フィリピン(8)香港 (3)ロシア、台湾(各 2)インド、ベル ギー、ペルー(各1)	食事の漢字・ 台風対策、ひ らがな・カタカ ナ	食事に関しても簡単そうだが、苦戦して いた。最近来たばかりの中国系学習者 に、防災の観点から、台風対策の語彙 についてやる。ひらがな・カタカナ組もが んばっていた。	仲里美佳子	太田雅子、金城弘子、下門礼子、 津波古洋子、仲田佳世
18	平成25年 10月25日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	15人	フィリピン(8)台湾、 香港(各2)インド、イ ギリス、ロシア(各1)	アンパンマン マーチの歌 詞、体の漢字	ひらがな・カタカナグループもいっしょ に、最近なくなったやなせたかし氏の「ア ンパンマンマーチ」の歌詞をいっしょに 読む。	大仲るみ子	金城弘子、島田武一郎、下門礼 子、津波古洋子
19	平成25年 10月29日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	18人	フィリピン(6)台湾 (4)インド、香港 (各2)ベルギー、ペ ルー、イギリス、ロシア (各1)	コミュニケーションに 関する漢字、 ひらがな・カタ カナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	仲里美佳子	新垣由美、太田雅子、金城弘子、 下門礼子、津波古洋子
20	平成25年 11月1日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	10人	フィリピン(4)インド、 台湾(各2)、ベル ギー、韓国(各1)	買い物に関す る漢字・漢字 のなりたち、ひ らがな・カタカ ナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	大仲るみ子	新垣由美、金城弘子、島田武一 郎、下門礼子、津波古洋子、仲田 佳世
21	平成25年 11月5日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	12人	フィリピン(3)インド 台湾(各2)、ベル ギー、ペルー、イギリ ス、香港、ロシア(各 1)	家族に関する 漢字、ひらが な・カタカナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	仲里美佳子	池間邦子、金城弘子、下門礼子、 津波古洋子
22	平成25年 11月8日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	16人	フィリピン(7)インド、 香港(各2)ベル ギー、台湾、中 国、イギリス、韓国 (各1)	部屋に関する 漢字、漢字の なりたち、ひら がな・カタカナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	大仲るみ子	新垣由美、金城弘子、島田武一 郎、下門礼子、津波古洋子
23	平成25年 11月12日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	10人	フィリピン(3)インド (2)、ベルギー、ペ ルー、イギリス、香 港、ロシア(各1)	趣味に関する 漢字、数字の 漢字、ひらが な・カタカナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	大仲るみ子	新垣由美、池間邦子、金城弘子、 下門礼子、津波古洋子、仲田佳世
24	平成25年 11月15日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	18人	フィリピン(6)中国 (3)インド、韓国 (各2)ベルギー、ペ ルー、イギリス、香 港、ロシア(各1)	建物に関する 漢字、曜日・日 付、ひらがな・ カタカナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	仲里美佳子	金城弘子、島田武一郎、下門礼 子、津波古洋子、仲田佳世
25	平成25年 11月19日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	13人	フィリピン(7)台湾、 インド(各2)ベル ギー、ロシア(各1)	家計に関する 漢字、ひらが な・カタカナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	大仲るみ子	新垣由美、池間邦子、下門礼子、 津波古洋子、仲田佳世
26	平成25年 11月22日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	12人	フィリピン(6)インド (2)中国、ベル ギー、ロシア、韓国 (各1)	勉強に関する 漢字、ひらが な・カタカナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	大仲るみ子	太田雅子、金城弘子、島田武一 郎、下門礼子、津波古洋子、仲田 佳世
27	平成25年 11月26日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	11人	フィリピン(4)インド (3)ロシア(2)、ベル ギー、アイルランド(各 1)	大学に関する 漢字、ひらが な・カタカナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	大仲るみ子	池間邦子、金城三枝子、具志堅民 子、下門礼子、津波古洋子、仲田 佳世
28	平成25年 11月29日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	16人	フィリピン(7)インド (3)香港(2)、ベル ギー、中国、ロシア、 韓国(各1)	色に関する漢 字、ひらがな・ カタカナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	大仲るみ子	太田雅子、金城三枝子、島田武一 郎、下門礼子、津波古洋子、仲田 佳世
29	平成25年 12月3日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴ レスアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	16人	フィリピン(7)インド (3)ロシア(2)、ベル ギー、ペルー、香 港、アイルランド(各 1)	授業に関する 漢字、ひらが な・カタカナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	仲里美佳子	新垣由美、金城弘子、金城三枝 子、下門礼子、津波古洋子、仲田 佳世

30	平成25年 12月6日 18:30～ 20:30	2時 間	学校法人ゴレ スアカデミー日 本文化経済学 院 3階ホール	17人	フィリピン(8) 韓国 (2) 中国、ベル ギー、ペルー、イン ド、イギリス、香港、 ロシア(各1)	式典に関する 漢字、ひらが な・カタカナ	それぞれのグループで会話をしながら 学習。	大仲るみ子	新垣由美、金城弘子、島田武一 郎、下門礼子、津波古洋子、仲田 佳世
----	-----------------------------------	---------	--	-----	--	----------------------------	--------------------------	-------	---

(7) 参加者の募集方法

①チラシを2000枚つくり、市役所や公民館、外国料理のレストランなど、外国人とかかわりがある人が多そうな場所においてもらう。②新聞の無料掲載コーナーにひらがなで募集の案内を出す。③これまでの受講者にチラシを郵送して参加をよびかける。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

日時:平成25年9月3日(火)18:30～20:30

場所:日本文化経済学院 3階ホール

参加者:17人 日本人:9人

内容:今日もまた、新しく2名の参加者があり、日本人1人に学習者3人のところはちょっとたいへんそうだったが、学習者同士も教えあいながら、漢字やひらがなを学んでいく。7時20分に、休憩時間のお知らせもかねて「からだ元気?」の曲を流す。歌詞を配って、最初はスピードを落としてみんなで聞く。前回学んだからだの部位の歌なので、みなそれぞれ指でさしながら聞いている。つぎにノーマルスピードで流したが、結構みんな歌っていた。その後、前回、今回と新しい人が多いので改めて自己紹介をしよう、ということになり、ひとりずつ立って自己紹介をする。「よろしくおねがいします」がなかなか言えないが、プリントをみながらようやく言えた人には拍手も起こる。

後半は、病院での会話の前に、まず病院で出会ういろいろな言葉を対訳をみながら意味を理解する。そして診察室での会話のプリントをみんなで読んでいく。ひらがながまだの人には難しかったが、それでも互いに助け合いながら、声を出して読んだり、代入練習をしたりして、勉強を終わった。スタッフミーティングで、やはりローマ字で書いてある方がいいのではないか、という意見がでたので、そうした教材を探すことにした。

日時:平成25年10月29日(火)18:30～20:30

場所:日本文化経済学院 3階ホール

参加者:18人 日本人:7人

内容:今日も台湾・香港グループは早い。あとから新しい人もひとり来たので、二つのグループに分かれる。非漢字圏の人たちもいつも通り一つのテーブルを囲んで、出てきた単語にまつわる話で盛り上がる。ひらがなグループは、まだまだ50音表をみなければ読めないの、色や体の部位など、いろんなプリントでひらがなを読む練習をする。N2を受けたインドの人が新しく加わった。台湾・香港の人と一緒に漢字のプリントに取り組み、いろいろ質問していた。

次回で20回。そろそろ終了後の交流会の相談をはじめなければならない。

日時:平成25年11月19日(火)18:30～20:30

場所:日本文化経済学院 3階ホール

参加者:13人 日本人:7人

内容:娘が来ていて2回も来られなかった!と、残念そうに言いながら来る人。11月はあと3回、12月は2回しかないから、あと5回しかないね。と、悲しそうに言う人。みんなが楽しみにしてくれていることにこちらが励まされる。

終了後、23日に福岡で開かれる日本語教育研究協議会のポスターセッションで発表する去年の取り組みと今年の取り組みについて、スタッフに感想を聞いた。慣れてきた、要領がわかってきた、というのが一番の大きなちがいで、余裕がもてるので、落ち着いて対応できる、いろんな話が聞けて楽しい、学習者同士の情報交換も大事だ、など、いろんな意見が出た。残り5回を前に、振り返りができてよかった。



- (10) 改善点について
日本語学習機会を希望する学習者が勉強を継続するための場所・スタッフの確保について尽力したい。

○取組3: 日本語学習成果発表フェスティバル

- (1) 体制整備に向けた取組の目標 学習者相互、またボランティアとの交流を深める。
地域ごとの外国人、ボランティア希望者のリストを作成する。
- (2) 取組内容
30回にわたり日本語を学んだ人たちを中心に、それぞれのお国の料理や衣装、ダンス、歌などを紹介し、地域の日本人との交流を深める一方、こうした学習の機会があることを広く知らせ、各地でサークルを立ち上げる機運を盛りあげる。
- (3) 対象者 地域在住の外国人 交流を希望する日本人 これまで日本語クラスや日本語サークルに関わった人たち
- (4) 参加者の総数 100 人
(出身・国籍別内訳 フィリピン4人 インド2人 韓国2人、中国、韓国、台湾、ミャンマー、イギリス、ポリア、ペルー、メキシコ、アルゼンチン、イタリア、各1人 日本74人)
- (5) 開催時間数(回数) 15 時間 (全 5 回)
- (6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年 12月13日 19:30～ 20:30	1時間	学校法人ゴレス アカデミー日 本文化経済学 院 3階	8人	インド(2)ロシア、 香港、ベルギー、イ ギリス、韓国、ペ ルー(各1)	国際交流フェ スティバルに 向けた話し合 い	フェスティバルの内容を検討する。	大仲るみ子	島田武一郎、津波古洋子、下門礼 子、仲田佳世
2	平成26年1 月17日 9:00～1 6:00	2時間	学校法人ゴレス アカデミー日 本文化経済学 院 3階	5人	フィリピン(3)、イギ リス、ペルー(各1)	国際交流フェ スティバルに 向けた話し合 い	タイトルを世界のまーさん(おいしい)大 交流会にする。	大仲るみ子	島田武一郎、津波古洋子、下門礼 子、仲田佳世
3	平成26年1 月24日 18:30～ 2030	2時間	学校法人ゴレス アカデミー日 本文化経済学 院 3階	6人	フィリピン(3)インド、イ ギリス、ペルー(各1)	国際交流フェ スティバルに 向けた話し合 い	フェスティバルの具体的内容のつめ。	大仲るみ子	島田武一郎、津波古洋子
4	平成26年1 月31日 18:00～ 21:00	3時間	学校法人ゴレス アカデミー日 本文化経済学 院 3階	5人	フィリピン(2)インド、イ ギリス、ペルー(各1)	国際交流フェ スティバル準 備	飾りつけやレイアウトを行う。	大仲るみ子	島田武一郎、津波古洋子、下門礼 子、仲田佳世
5	平成26年2 月1日 9:00～1 6:00	7時 間	学校法人ゴレス アカデミー日 本文化経済学 院 1階	92人	フィリピン(4)インド、 ネパール(各2)、中 国、韓国、台湾、 ミャンマー、イギリス、 ボリビア、ペルー、メ キシコ、アルゼンチン、イ タリア(各1)	世界のまー さん(おいしい) 大交流会	各地の料理を1パック100円で試食して もらいながら、踊りや言葉など文化を紹介 する。またO×クイズでいろんな国の 珍しい習慣や地理などを紹介する。あい さつや文字などの紹介は、みな関心をも っていた。	大仲るみ子	島田武一郎、津波古洋子、下門礼 子、金城弘子、仲田佳世、山内昌 文

- (7) 参加者の募集方法
- 新聞の無料コーナーに掲載。地域のFM放送でも宣伝してもらおう。チラシを2000枚づくり、いろんなところに貼ってもらおう。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

9時過ぎからみんな集まってくる。料理は イギリス＝シチュー、イタリア＝トマトのペルネ、フィリピン＝アドボ ムラサキ芋のデザート ロンピア、ネパール＝チキンカレー ベジタブルカレー シュウマイ、ペルー＝マッシュポテトのケーキ風サラダ、ミャンマー＝テビチのゼリー、おきなわ＝ななみ汁、インド＝カレー レモンライス スナック菓子 飲み物はネパールミルクティー、インドミルクティー、ベトナムはす茶、グリーンティー。バラエティーにとんだメニューが並び、食券売り場も完成。看板を通りの目立つところにたて、国旗も入り口にならべる。料理を小分けにする作業に追われているうちに、三々五々人が集まってくる。

11時過ぎに開会のあいさつとして、今日の「世界のまーさん(おいしい)大交流会」開催に至った経緯を日本語教室の紹介もかねて行った。さっそく食券売り場に人が並び、大盛況。インドのカレーはあっというまに売り切れ。手にもちきれないくらい買いこんでみんなテーブル席について、興味津々で味わっている。

少し落ち着いたところで、まずペルーのダンスで中央にみんなの注意を集める。次に今日参加している学習者や来ている外国人に好きな言葉をホワイトボードに書いてもらいながら一言ずつ挨拶。各国の〇×クイズ大会では学習者が各国の文化や習慣などを楽しく紹介してくれた。その場で飛び入りで出題する外国人もいて、いろんな話題を楽しんだ。最後に、自分の名前を各国の言葉で書いてもらおう、とシートを渡す。外国人をみつけて声をかけ、書いてもらう高校生の姿がほほえましかった。また民族衣装のコーナーにも高校生や大学生がきて、インドのサリーや韓国のチマチョゴリに袖を通し、写真をとりあっていた。最後に30回の日本語講座に通った学習者に修了証を理事長から渡して記念撮影をし、お開きとしたが、その後も名残惜しそうにいつまでもあっちこちに小グループができて、話の花が咲いていた。片付けもみんなで手分けしてしたので、あっという間に終わった。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

予想以上の来客で、みな楽しんでた。特に、高校生や子供の参加が多く、場が和んだ。学習者がみな、お客さんではなく、自分たちのイベントとして取り組んでいた。一方、こんな近くに外国人がいるなんて知らなかった、とか、同じようなイベントがあったら、また来たい、という意見が多く聞かれた。(アンケート添付)

(10) 改善点について

事前の人数把握ができず、当日の後半は正確な人数をつかめなかった。スタッフに名札などの目印がなくて、わかりにくかった。総括として、食を使ったイベントが、地域の人たちと交流するのに非常に有効であることを再確認した。今後も定期的に開催していきたいと思った。また学習者がお客さんではなく、主体的にホストの意識をもってかかわることで、単なる打ち上げ花火に終わらない、継続的な取り組みになるのではないかと考える。

次年度にむけて何ができるのか、今回集まった人の和を大切にしながらみんなで考えていきたい。

○取組4:各地の潜在的日本語学習希望者の実態を把握するためのアンケート調査

(1) 体制整備に向けた取組の目標 全市町村とのネットワーク作り

(2) 取組内容 県内全市町村ならびに教育委員会にアンケートを送付し、地域在住の外国人数と日本語学習の需要の有無を調査する。

結果を連絡会に提案し、具体的な取り組みにつなげていく。

(3) 対象者 41自治体ならびに教育委員会

(4) 調査協力者総数 41人

(出身・国籍別内訳 全員 日本人)

(5) 開催時間数(回数) 5 時間 (全 4 回)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	担当者
1	7月10日	1	県庁	3	日本(3)	アンケート	アンケート内容・方法の検討	瀬底あけみ
2	7月20日	2	レスコ事務所	1	日本(1)	アンケート	アンケート作成	瀬底あけみ
3	8月26日	1	県庁	3	日本(3)	アンケート	返信状況検討	瀬底あけみ
4	1月16日	1	県庁	2	日本(2)	アンケート	アンケート結果検討	瀬底あけみ

(7) 参加者の募集方法

こちらが作ったアンケートをもとに、沖縄県交流推進課から全市町村の担当者にメールで送付して回答してもらった。

(8) 特徴的な活動風景(アンケート結果)

対象: 沖縄県内41自治体の地域在住外国人担当部署

方法: 沖縄県交流推進課からメールで依頼

回答数: 41自治体

回答内容

1. 地域に暮らす外国人の国籍・性別・数 略

2. すでに取り組んでいる取り組みに「A」、これから必要と思われる取組に「B」、
あまり必要を感じない取組に「C」を記入。

取組内容	回答市町村数			
	A	B	C	無回答
国際交流員の配置	5	16	13	6
外国語での生活相談窓口の設置	3	26	9	2
地域在住外国人の相談員としての活用	0	24	13	3
日本語サークル等日本語を学ぶ機会の提供	2	22	12	4
外国人を支援するボランティアの養成	1	21	14	4
日本人と外国人の意見交換会・話し合い	2	24	10	4
外国人が意見を出したり提案をしやすい環境の整備	1	28	7	4
各自治会への参加促進	4	23	10	3
多文化共生をテーマにした交流イベントの開催	5	20	12	3
多言語での情報の提供	8	27	3	2

3. 多言語で情報を提供する場合、どのような言語が必要だと思われるか？ 略

4. どのような情報をどのような言語で提供しているか？

	提供自治体数	言語				
		英	中	西	韓	葡
役所の手続きのしかた	9	7	3	2	1	1
地域内の地図・防災マップ	9	9	3	2	6	2
図書館・公民館の利用案内	3	3	1	1	1	1
年中行事やイベント情報	9	8	4	2	2	2
ゴミの分別のしかた	12	12	4	2	2	2
就学・転校手続き	3	3	3	2	0	2
学習支援情報	3	3	2	1	1	1
健康保険・健康診断情報	5	4	2	1	1	1
母子保健情報・子育て支援情報	9	8	4	2	2	3
防災対策情報・防災訓練情報	5	5	2	1	1	1

5. 多文化共生の取り組みを行う上で、現在どのような情報を必要としているか？

- ・在住外国人の求める行政サービス
- ・外国人どうしのネットワークに関する情報
- ・先進地域の取組状況
- ・各国文化の知識(宗教上の制約、民族の傾向)
- ・観光客受入に関する住民の心構えや観光客が安心して過ごすための国際交流員の活用方法

6. 他の自治体の担当者と情報交換で、どのような情報を望むか？

- ・他市町村の多文化共生の取組事例、問題点、解決策など
- ・他市町村の多言語での相談窓口、対応状況、多言語対応可能な部署の連絡先
- ・在住外国人へ直接情報を提供するための他市町村が行っている効果的な取組(周知方法など)

7 自由記述

- ・多文化共生推進するためには、語学力が必要。母語を相互学習できる環境を作ることが重要
- ・各種申請方法など県で統一されているものに関しては、県で発注し各市町村へ配布するなどの工夫が必要(母子手帳など)
- ・英語対応できる職員が不足。外国籍職員を採用する人件費もない。多文化共生の取組は非常に難しい。
- ・情報交換をする場を設けてほしい。また、多文化共生に必要な知識を身につけるための研修等を行ってほしい。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

- ・全市町村の担当者のメールアドレスと、個々の在住外国人数とその国籍を把握できた。
- ・全市町村に外国人住人がいるにもかかわらず、対処の必要性を感じない自治体もあり、温度差があることがわかった。
- ・多くの自治体でノウハウがなく、どのように取り組んでいいのかわからないという現状が見えてきたので、連絡会の必要性を一層再認識した。

(10) 改善点について

返信がなかなか来ず、集計までに時間がかかってしまい、このアンケート結果をいかして連絡会を作る方向へつなげることができなかった。

今回のアンケートのデータをもとに、地域での取組のあしがかりにしたい。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

地域に暮らす外国人が日常生活において日本語力が不足するために受ける不利益を解消し、一方そうした隣人がいることに地域の日本人が気付きともに協力し合って住みやすい生活空間を作ることを目的とする。

(2) 事業目的の達成状況

日本語クラスは、日本人の指導補助者が常時3名～7名参加して、学習者の日本語学習を手伝いながらいろいろな交流を行い、単に学習にとどまらない絆を築くことができた。その絆が、国際交流フェスティバル「世界のまーさん(おいしい)大交流会」での、みんなの力でがんばろうという力になり、日本人・外国人関係なくみながアイデアを出し合い、有意義な交流会とすることができた。また、交流会の中で日本語学習について知らせることができ、「そんな教室があったんですか」とか、「もっと交流したい」などの意見が多く寄せられ、地域に外国人の現状を伝える役割を果たすことができた。

一方、アンケート調査を通じ、地域で生活する外国人を担当する各自治体の部署をつないで情報交換できる連絡会を作ることが、今後の「生活者としての外国人」のための日本語教育事業にとって必要なことだということ再認識したが、実際に顔を合わせるまでには至らず、次年度の課題として残った。

(3) 地域における事業の効果、成果

日本語クラスについては、すでに来年はありますか、という問い合わせがよくあり、この『生活者としての外国人』のための日本語教育事業がきっかけで生まれた那覇市の日本語サークルを訪ねる人も増えている。また 当NPO法人 沖縄国際人材支援センターでも、週1回程度、学習者と日本人スタッフが定期的なサークルを立ち上げようかという話もでていて、これも一つの成果といえる。

この事業を主催したおかげで、いろんな人が事務所に立ち寄るようになり、地域在住外国人との交流を希望する日本人の輪がひろがっているのは、うれしい限りだ。

(4) 改善点、今後の課題について

i 現状

県内各市町村担当者に情報を提供する場があまりなく、担当者が在住外国人の現状を知らないことも多い。ようやく、先進的な交流協会や担当者と連絡がとれるようになってきた。

ii 今後の課題

今回行った市町村へのアンケートによって、地域によって温度差があることがわかったので、今後は興味をもつ自治体にたいして、これまでの事例提供や、日本語指導を希望する人材の紹介など、地域日本語教育が活性化する取り組みを推進する必要がある。

iii 今後の活動予定

学習者と日本人ボランティアが自主的にサークルの立ち上げようと、話し合いを続けている。料理は交流のきっかけとして非常に有効であることがわかったので、今後もまーさん(おいしい)交流会を数ヶ月ごとに開催していく予定である。こうした活動を広報することで、県内各地で同様な取り組みが行われるよう、各市町村自治体とも話し合いをもっていきたい。

みなさん、こんにちは！

外国人の皆さんのための、無料の日本語教室がはじまります。

外国から来たみなさんにとって、情報はとても大切です。でもインターネットなどで知ることが出来る情報はほんのすこしです。また必要な情報はたいてい日本語でしか書いてありません。いろいろなことばに翻訳するには、時間がかかります。

そこでみなさんの日本語の勉強をお手伝いするために8月27日から12月6日まで無料の日本語教室をはじめます。時間は毎週、火曜日と金曜日の午後6時半から8時半までです。これまでぜんぜん勉強したことがない人でも、だれでも参加できます。ご希望の方は、電話かメールでお申しください。

大家好！

专为外国人提供的免费日语学习班开课了。

对于从外国来日本的外国人来说，信息情报是非常重要的。但是网上的信息是有限的，而且基本上都是日语。要翻译成各种外语需要花时间。

作为解决这个问题的1个方法，将在8月27日至12月6日期间举办免费日本学习班。每周星期二和星期五晚上6点半至8点半上课。

不管以前是否学过日语，谁都可以参加。希望大家踊跃报名。请电话或电子邮件联系。

Hello friends!

We have sent this information to non-native Japanese speakers on Okinawa. We understand that it is necessary for all foreigners to receive information regardless of their nationality. However, websites have limited information in English. It will take time to translate into other languages.

Therefore, as an urgent response to this situation, we will start free Japanese language lessons from 27th Aug. to 6th Dec., held from 6:30 to 8:30 pm every Tuesday and Friday. If you are interested in attending these classes, please contact us by phone or email.

We look forward to seeing you soon.

免费日语学习班!

Free Japanese Language Lessons!

むりょう にほんご きょうしつ!

無料日本語教室!

2013年^{ねん}8月^{がつ}27日^{にち}~12月^{がつ}6日^{むいか}

from 27th Aug. 2013 to 6th Dec. 2013

毎週^{まいしゅう} 火曜日^{かようび} (星期二)、金曜日^{きんようび} (星期五) Every Tuesday and Friday

午後^{ごご}6時半^{じはん}~8時半^{じはん} 6:30 p.m.-8:30 p.m.

☆ 1人~5人の^{しょうにんすう}少人数のグループで

☆ 为1~5人的少人数班级

☆ In small groups of one to five

☆ レベルにわかれて^{べんきょう}勉強します。

☆ 按照不同的日语水平分班学习

☆ Learn with friends of similar Japanese ability

日本文化経済学院^{にほんぶんかけいざいがくいん}3F

〒900-0036那覇市^{なはし}西2-12-14

Nihon Bunka Keizai Gakuin(JICE)3F

2-12-14 Nishi Naha, 900-0036

Tel・Fax: 098-866-8321

「あさひばしえき」から7ふん 从旭桥站徒歩7分钟 7min. from Asahibashi-St.



お問い合わせ・おもしろい
咨询 Inquiry

098-866-8321

info@iresco-gores.com

《IRESCO(イレスコ)》

NP0法人^{ほうじん} 沖縄国際人材支援センター^{おきなわこくさいじんざいしえん}



いろ いろ くに ひと とも だち
色々な国の人と友達になろう! Make friends with people from around the world!

世界の^{せい}まい^{かい}さん^{だい} 大交流会^{こう} ^{りゅう} ^{がい}

2014.02.01 ^ど土^sat



11:00~15:00



JICE日本文化経済学院

ABCや「あいうえお」

だけじゃない。色々な文字で自分の名前を書こう!

It's not only ABC or 「あいうえお」
Have your name written in different languages!

これはな〜んだ??? 不思議なものがいっぱい。クイズに答えて、プレゼントをゲット!
What's this? The world is full of wonders.
Answer quizzes and get prizes!

1人でも、友達とでも、親子でも。

どなたでも **大歓迎!**

Come one, come all. Bring your friends and family.
Everyone is WELCOME!

料理を食べたり、歌ったり、踊ったり、
お互いの国のことをもつとしよう!
Taste a variety of food, sing, dance and get
to know different cultures from around the world!
参加チケット: ¥500 (¥100 × 5枚つづり)
このチケットで料理が買えます。
Entrance fee: 500 yen (100 yen x 5 tickets)
Tickets can be used to purchase food.

主催: NPO法人 IRESO 沖縄国際人材支援センター
HP: www.iresco-gores.com / mailinfo@iresco-gores.com
TEL/FAX: 098-866-8321

共催: 沖縄NGOセンター HP: www.oki-ngo.org
onc@oki-ngo.org / TEL: 098-892-4758 / FAX: 098-892-9908



【多文化共生に関するアンケート集計結果】

1.地域に暮らす外国人の国籍・性別・数を教えてください。

別添の「市町村外国人登録者数」を参照

2.すでに取り組んでいる取り組みに「A」、これから必要と思われる取り組みに「B」、あまり必要を感じない取り組みに「C」を記入してください。

取組内容	回答 (回答市町村数)			
	A	B	C	無回答
国際交流員の配置	5	16	13	6
外国語での生活相談窓口の設置	3	26	9	2
地域在住外国人の相談員としての活用	0	24	13	3
日本語サークル等日本語を学ぶ機会の提供	2	22	12	4
外国人を支援するボランティアの養成	1	21	14	4
日本人と外国人の意見交換会・話し合い	2	24	10	4
外国人が意見を出したり提案をしやすい環境の整備	1	28	7	4
各自治会への参加促進	4	23	10	3
多文化共生をテーマにした交流イベントの開催	5	20	12	3
多言語での情報の提供	8	27	3	2

3.多言語で情報を提供する場合、どのような言語が必要だと思われますか？

省略

4.どのような情報をどのような言語で提供していますか。あるいは今後必要だと思われますか？該当するところに○をお願いします。

	すでに提供している (全41市町村中)	言語 (回答市町村数)					西…スペイン語 葡…ポルトガル語
		英	中	西	韓	葡	
役所の手続きのしかた	9市町村	7	3	2	1	1	
地域内の地図・防災マップ	9市町村	9	8	2	6	2	
図書館・公民館の利用案内	3市町村	3	1	1	1	1	
年中行事やイベント情報	9市町村	8	4	2	2	2	
ゴミの分別のしかた	12市町村	12	4	2	2	2	
就学・転校手続き	3市町村	3	3	2	0	2	
学習支援情報	3市町村	3	2	1	1	1	
健康保険・健康診断情報	5市町村	4	2	1	1	1	
母子保健情報・子育て支援	9市町村	8	4	2	2	3	
防災対策情報・防災訓練	5市町村	5	2	1	1	1	

5.多文化共生の取り組みを行う上で、現在どのような情報を必要とされていますか？

- ・在住外国人の求める行政サービス
- ・外国人どうしのネットワークに関する情報
- ・先進地域の取組状況
- ・各国文化の知識(宗教上の制約、民族の傾向)
- ・観光客受入に関する住民の心構えや観光客が安心して過ごすための国際交流員の活用方法

6.他の自治体の担当者と情報交換できる場があったとしたら、どのような情報を望みますか？

- ・他市町村の多文化共生の取組事例、問題点、解決策など
- ・他市町村の多言語での相談窓口、対応状況、多言語対応可能な部署の連絡先
- ・在住外国人へ直接情報を提供するための他市町村が行っている効果的な取組（周知方法など）

7.最後に、多文化共生推進に関して御意見があれば教えてください。

- ・多文化共生推進するためには、語学力が必要。母語を相互学習できる環境を作ることが重要
- ・各種申請方法など県で統一されているものに関しては、県で発注し各市町村へ配布するなどの工夫が必要（母子手帳など）
- ・英語対応できる職員が不足。外国籍職員を採用する人件費もない。多文化共生の取組は非常に難しい。
- ・情報交換をする場を設けてほしい。また、多文化共生に必要な知識を身につけるための研修等を行ってほしい。